すべてを失ったかと…酵母菌は残っていた！

鈴木（すずき） 市夫（いちお）

株式会社鈴木酒造店 長井蔵 会長

昭和14年（1939）、浪江町生まれ。
双葉高校、東京農業大学を卒業後、1962年に浪江町に戻り家業を継ぐ。
代表銘柄は「磐城壽」「一生幸福」など。2018年より同社会長。

浪江町の請戸（うけど）港近くに酒蔵を構え、代々酒造りを営んでいました。
2011年3月11日は仕込みの最終日。私たちにとっては1年で
一番めでたい日になるはずだった。しかし1年間一生懸命仕込んだ酒は、
建屋もろとも津波に流されてしまった。さらに直後の原発事故で避難を余儀なくされ、
福島市を経由して国道13号線を北上、やっとのこと山形にたどり着くことができた。
その日から「すべてを失ってしまった」と悲嘆に暮れる日が続きました。
そんなある日のこと、福島県の研究施設から思いもよらない連絡が入るのです。
うちの蔵の酵母菌が残っていると…。こういうことがあるんだね。
「酒造りを頑張れというメッセージだ」皆の顔がぱっと明るくなって、
体じゅうから力が湧いてきた。
それから、山形県長井市の廃業する酒蔵を譲り受け、醸造を再開することができた。
浪江とは水も、コメも、気候も違うので、酒の質を維持するため
試行錯誤の日々が続いたなあ。
資金面でもずいぶんと苦労したけど、何とか造り続けることができた。
あの日から10年、これで再び浪江町で酒造りを始めることができる。
本当に多くの方々にお世話になりましたよ。
皆さんへの恩返しはおいしい酒を造ること、そう思ってます。

山形県長井市の株式会社鈴木酒造店 長井蔵。
再び浪江町でも酒造りを始める